

第20回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

2017年5月30日から6月6日にかけて、第20回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日団一行34名は、日本での8日間の訪問を行いました。中国日本商会、日中経済協会そして訪問先の関係者の多大なるご支援ならびにご協力の下、代表団の訪日活動は無事そして円満に期待通りの成果をあげることができました。

今回の代表団は清華大学、中国人民大学、对外経済貿易大学、北京外国語大学、北京郵電大学そして北京交通大学の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、私達は京都、神奈川、東京等を訪れ、三菱商事、三井住友銀行、日立製作所中央研究所、オムロン京都太陽、ホテルニューオータニなど5つの有名企業の見学の他、京都大学や一橋大学の学生達との交流、中華人民共和国駐日本国大使館への表敬訪問、孫中山・梅屋庄吉両氏の一生涯の友情の舞台となった松本楼への訪問、さらには中国日本商会各会員企業の従業員宅でのホームステイ体験など、充実したスケジュールの下で多くの収穫を得ることができました。また今回の訪問を通じて、日本企業の進んだ技術や経営理念そして環境保全意識を学び、茶道や座禅などの日本の伝統文化を体験し、日本の人々と深い友情を育むことができました。団員らは充実した今回の8日間において、細かな観察や思考を通して様々な角度や側面から認識した日本について日記形式にまとめました。ここに団員らの日本訪問における思いを皆様へご紹介いたします。皆様にはこの報告書から、彼らの収穫や感動といったものを感じ取って頂ければ光栄に存じます。

今年は日中国交正常化45周年にあたり、両国関係はさらなる改善そして発展における重要な好機を迎えています。国の交わりは民の親しさにあります。日中関係のさらなる発展には、両国の人々、特に若者世代の幅広いサポートと積極的な関わりが求められます。日中両国の若者らが手を携え、共に学び進歩することで、日中友好における架け橋となることを心から願っております。中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の民間及び草の根交流をより活発化し、両国の人々、特に青少年同士の相互理解と友情の増進を図り、日中関係の継続的な改善そして発展へのたゆまぬ努力をしていく所存でございます。

最後に、今回の代表団の訪日に際して多大なご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び関連各企業の皆様に、心より感謝申し上げます。

第20回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団 団長
中日友好協会副秘書長
程海波